

邇摩高校PTA広報

Yurinoki

高百合樹



第 38 号

令和 8 年 2 月 27 日
島根県立邇摩高等学校PTA

ユリノキ

本校が明治36年、大森町に創設された際に植栽された由緒ある樹木である。創立100周年の記念樹としても採用された。

PTA会長あいさつ

「卒業おめでとうです」



久保 孝次

保護者の皆様、ご家族の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうござ

います。

そして、三年間、子供たちを支え、指導頂いた邇摩高校の教職員の皆様、地域の皆様へ心より感謝申し上げます。

三年前に入學された時を覚えていますか？緊張でドキドキだった入学式だったのではないのでしょうか。私自身も

校長あいさつ

「総合学科第29期生のみなさんへ」



佐々木 健二

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

保護者のみなさん

まにおかれましても、お子様のご卒業を心よりお祝い申し上げます。これまで本校の教育活動に対し、深いご理解と温かなご支援を賜りましたことに、厚く御礼申し上げます。

さて、卒業生のみなさんはこの三年間、高校生活の中で多くの経験を重ねてきました。学習や部活動、学校行事、日々の人間関係の中で、順調なときば

皆さんの入学式を見守っていた者の一人として卒業の日をうれしく思います。振り返ってみると仁心祭では先輩方の活躍をみて学び、3年生になった今では後輩の見本となる活躍で大成功に収めました。邇摩高フエアでは、「幸紫想笑く地域を結んで幸福を招こう」と地域の皆さんに授業で作った加工品や野菜、学習で身に着けた工夫でオリジナルスイーツやレシピ、部活の成果を紹介していました。とつても幸せで

幸福な時間を共有することが出来ました。他には部活動、資格試験、系列の学びでの活躍もありました。これからそれぞれの道を進むわけですが、このステータスで学んだことを更に昇華させて次のステータスでも活躍されることをお祈りしております。

最後に校長先生をはじめ、教職員の皆様、3年間、私を支えてくださった役員の皆様、PTA会員の皆様には感謝しかありません。まだまだ、子供たちの道は続いていきます。一人ひとりが選んで歩んだ道。素敵な道になりま

す様、応援しています。いつか会える日を楽しみにして。



かりではなく、迷いや不安を感じたこともあったことでしょう。それでも、その都度仲間と向き合い、考え、行動してきた日々は、確かな成長としてみなさんの中に積み重なっています。

私は、日頃からみなさんに、「共創」という言葉を伝えてきました。仲間と共に考え、学び、新しい価値を生み出していく姿勢は、変化の激しいこれからの時代を生き抜く上で欠かせない力です。高校生活において、意見の違いに戸惑いながらも、互いを尊重し、一つの目標に向かって力を合わせてきた経験は、今後の人生において必ず生きてきます。一人では辿り着けない場所へ、仲間と共に進むことの大切さを、

どうか忘れないでください。メジャーリーガーの大谷翔平さん

は、「目標があると、今やるべきことが見えてくる」と語っています。目標を掲げること、今日何を大切にすべきかが明確になり、日々の行動に意味が生まれます。そして、そうした日々の積み重ねを大切にすることが、やがて大きな自信へとつながっていきます。

これから進む道は一人ひとり異なりますが、みなさんが高校生活で積み重ねてきた努力は、これからの進路や人生の選択を支える確かな土台となるはずです。自分の目標を見失わず、自信を持って進み続けてください。母校は、これからもみなさんの挑戦を見守り、応援しています。

卒業生のみなさんが、それぞれの場所で、自分らしい未来を切り拓くことを心から願っています。

卒業生保護者より

「祝!!卒業」

PTA評議員 坪内 恵美

卒業おめでとうございます。仁心祭や邇摩高フェアでは、皆さんがいつも楽しそうにされている姿が印象的でした。これまでたくさんの方と出会い、友達を大切に仲間と共に歩み苦楽を共にしたことは、これからの人生を支える宝物になるでしょう。皆さんの活躍を応援しています。最後に、子供たちの想いを大切に、温かく見守って下さった先生方に感謝します。ありがとうございます。

「卒業おめでとう」

PTA評議員 福間 正伸

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。三年間があつという間に過ぎたように思います。たくさんの方の学校行事に参加したり、息子の部活動の応援に行きました。そこでは、生徒の皆さんが笑顔で一生懸命取り組む姿がとても輝いて見えました。見ている私達もたくさん元気をもらいました。これからは、それぞれの道へ進まれる事と思います。皆さんの更なる飛躍とご活躍を応援しております。

「卒業おめでとうございます」

PTA評議員 平木 克章

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。高校生活の3年間は勉強や部活、学校行事等で様々な学びや経験を通して、心身共に大きく成長を感じさせられました。春からの新しいステージでは日々の努力や経験が役立つ時があると思います。これからも夢に向かって、自分を信じて歩んで下さい。最後に、3年間ご指導下さいました先生方大変お世話になりました。



文化祭 PTA バザー

「卒業おめでとうございます。」

PTA監事 兒島 まゆみ

卒業生の皆さん、保護者の皆さん、ご卒業おめでとうございます。長いようで短かった3年間だったと思います。良い事もあれば苦しい事、頑張った事、頑張る事が出来なかった事、どれも大切な経験です。次のステージでも、高校3年間の経験を活かして、それぞれの人生を歩んで素敵な大人になって下さい。応援しています。最後に、3年間子供たちを温かく見守って下さった先生方、ありがとうございました。

「夢」

PTA評議員 釜田 洋臣

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。邇摩高校に入学して勉強、部活、友人にと、いろんなことを学んだ3年間は次のステップに必ずつながるでしょう。数々の困難を乗り越え夢に向かって自分の道を突き進み、これからも自分を信じて歩んで下さい。

Believe in yourself!

あきらめなければ、きつといつか大輪の花が咲くときが来るよ。心から応援しています。高校生活、大変お世話になった先生方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

文化祭 PTA パン販売



教職員より

「感謝」

三年学年主任 門脇 良子



みなさんと過ごした時間は、一年間という限られた間ではありましたが、授業や進路実現に向けたやりとりを通じて、成長して行かれる姿を間近で見させてもらいました。

私はこの時期になると、数十年前、私が高校を卒業する日、担任の先生が「石の上にも三年」ということわざを贈ってくれたことを思い出します。冷たい石でも三年座り続けていれば暖かくなるということから、続けていけば、いつか報われる日がくるといった意味で使われます。年齢を重ね、自身の状況も大きく変化化する中、折に触れて思い返すことばの一つです。私自身は「初めてのことに会おうと、すべてが上手にできず、不安ばかり。でもそれは慣れていないから。少し続けてみて、様子が見えてから考えよう。」そのように置き換えて受け止めていきます。みなさんは春から新たなスタート、変化のときです。この一年と同じように悩み迷うことも多くあるかもしれませんが。でも、周りには支えてくれている人がいるということを絶対に忘れずに、これまでの経験を自信に変えて、

さらに力を発揮してください。

みなさんが元気に、それぞれの場所で自分らしく活躍していかれることを心から願っています。この一年、本当にありがとうございました。ご卒業おめでとうございます。

「二歩踏み出そう」

三年一組担任 立石 智美



ご卒業おめでとうございます。邁摩高校での3年間はいかがでしたか？日々の

授業や部活動をはじめ、皆さんはこの3年間で様々な経験を通して知識だけでなく、困難なことに立ち向かう勇氣、そして仲間との強い絆を育んだのではないのでしょうか。

これから始まる人生において、誰しも必ず壁にぶち当たることがあります。そのときにはぜひ、高校で育んだことを自信にかえて、失敗することを恐れずに一歩踏み出してください。回り道する方が多くの経験を積めます。その分きつと人生は豊かになるでしょう。だから、失敗を恐れず、やりたいと思った自分の感情を大切に、一歩踏み出して、大きく飛躍してくださいね！これからの皆さんのさらなる活躍を応援しています。最後に、皆さんと出会えて最高の1年間でした、ありがとうございます！！

「出会いに感謝」

三年二組担任 山田 峻也



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。2組のメンバーはパワー全開で、そのパワーに負けないように必死に私も駆け抜けてきました。勉強と部活の両立、120%の力で取り組んだ学校行事、悩みに悩んで決定した自分の進路。思い起こすとたくさん思い出が詰まった3年間であったと思います。

ここまでの努力と挑戦は、あなたたち一人ひとりの財産です。嬉しい日も悔しい日も、共に過ごした時間が次の一歩を支えてくれます。これから出会い人や経験を大切に、自分の可能性を信じて進んでください。失敗を恐れず、学び続ける姿勢が未来を切り開きます。健康に気を付け、笑顔を忘れず、新しい舞台で輝いてください。出会いに感謝、ありがとうございます。



「卒業生の皆さんへ」

三年三組担任 小中 洋子



ご卒業、おめでとうございます。ここから皆さんの新しいステージが始まります。

それぞれ道が素晴らしいものであります。心から祈っています。人生は短いですが、長く感じられることもあり、この先、何十年も続いていきます。「もう頑張れない…」と絶望しそうな程、つらいときもあると思います。そんなときには、「捉え直し」(レフレミング)に挑戦してみてください。苦しい状況も「自分にとってのやり直しの、再挑戦のチャンスだ。」とポジティブな視点で捉えてみたり、「少し休憩してからまた出直せと神様(?)が言ってるんだね。」と自分なりの解釈で、ゆったりしてみたり…。他人の評価に惑わされすぎず、ポジティブシンキングでいきましょう。中島みゆきさんの「宙船」いわく「(他人に)お前のオーラを任せるな。」です。卒業生の皆さんの前途に幸あれ！



卒業生より

「友」

三年一組 黒石 健輔

逦摩高校での三年間の思い出はかけがえないものだと思います。特に友人や先生方には多く助けられました。系列の検定勉強や部活動、また学校の行事などでも、いつも支え助けてくれたのは友人や先生方でした。本当に感謝しているしこれからは逆に私が助けたいと思います。これから、就職や進学など新たな場所で生活し、苦しくなる時もあるかもしれませんが、友人を大切にしてお互いに頑張っていきたいと思えます。かけがえない三年間をこの逦摩高校で過ごせたことにとても感謝しています。ありがとうございます。

「三年間」

三年二組 青戸 美波

逦摩高校での三年間は、たくさんの体験や学びがあり、楽しい時間があったという間に過ぎていきました。入学した時は、新しい環境で上手くいくか不安でいっぱいでしたが、学校行事や部活動を通して、良い仲間に出会えて、たくさんのお話を学ぶことが出来たことは一生の思い出です。そして、友達や先生方に支えてもらったおかげでここまでこれて、感謝の気持ちでいっぱいです。

四月からは新しい生活が始まります。

高校生活で学んだ経験を活かして仕事を頑張りたいと思います。三年間ありがとうございました。

「三年間を通して」

三年三組 來間 彩聖

高校三年間は苦しいことも多くありましたが、大きく成長し充実した三年間でした。入学当初は慣れない環境で不安も多かったです。しかし、系列の授業、部活動や行事を行っていくことで、苦しくも楽しく濃い日々を送ることができました。同級生や先生方、周りの支えで逦摩高校でしか得られない体験、学びを得ることができた思い出になりました。

また、クラスや学年としても成長できる仲間に出会うことができました。四月からはそれぞれ新たな環境でのスタートです。逦摩高校での学びを活かし、社会に出て学びを増やしていきたいです。三年間ありがとうございました。

PTA 総会

PTA 総会 (加工品販売) ↓



PTA 総会の様子 ↓

新生徒会より

「卒業生の皆様へ」

新生徒会長 花田 哲埤

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。三年生には普段の生活の中や部活動、学校行事など様々な場面でお世話になりました。三年生の皆さんは元気が溢れていつも頼りになる先輩でした。体育祭や文化祭では、学校全体を盛り上げ、きちんとする時にはしっかりとすべきことをする。その姿が私達後輩にとって大きな手本になりました。

これからは、私達がこの逦摩高校を引っ張っていきたいと思います。二年間ありがとうございました。これからの皆様のご活躍をお祈りしております。

